

## 第31回北広島市総合計画推進委員会 会議録

日 時	平成31年3月13日(水) 10:00~12:00
会 場	市役所3階 3D会議室
出席委員	鈴木聡士委員長、谷本雄司委員、武者加苗委員、桂裕章委員、天羽浩委員
欠席委員	なし
市出席者	【企画課】川村企画財政部長、橋本課長、佐々木主査、勝谷主事

### 1. 開会

「委員の過半数が出席していることから、委員会が成立していること」を確認した。

### 2. 会議録署名委員の選出

委員長の指名により、桂委員を第31回推進計画委員会会議録の署名委員としたい旨提案があり、了承された。

### 3. 議事

#### 【議案1】重点プロジェクトについて

※推進計画に掲げる重点プロジェクトの方向性について議論  
事務局より各種事業の概要について説明

<重点プロジェクトについて>

- ◆A委員：家庭児童相談室運営事業の年間相談件数が年々増加しているが、どんな内容の相談が増加しているのか。
- 事務局：テレビのニュースや新聞等で子どもに関わる事件に触れる機会が増えている中で、保護者等においても相談をした方がよいのではと相談に至っているケースが増えてきている。  
相談の内容で一番多いのが児童虐待となっており、その中でも心理的虐待が多くなっている。
- ◆委員長：相談窓口を増やす等、政策的に市独自の取り組みを何か行った結果、相談件数が増加したというようなことはあるのか。
- 事務局：市役所の中に相談窓口があり、その体制が市民の中でも広く浸透してきて、相談しやすい環境が出来ているのが要因の一つである。
- ◆A委員：高齢者総合相談支援事業について、主にどんな相談内容なのか。
- 事務局：介護保険に関わる手続きの関係やサービス内容、病院の入退院に関すること、どういった施設に入所したらよいかというのが主な相談内容になっている。
- ◆B委員：交通安全推進事業に関して、BPの建設で道路が増えて交通量も増えることが想定されるが、それを見越した対策等する予定はあるか。

## 第31回北広島市総合計画推進委員会 会議録

- 事務局：市の実態として、全体の事故の約7割が高速道路や道道で発生している。市の特徴として、通過する交通量が多いということが挙げられ、それに関連する事故が多い。  
また、高齢者の事故が多く、全死亡者数の4分の1が高齢者となっているため、第10次北広島市交通安全計画の中で、より一層、高齢者対策や事故防止の啓発等を行っていくということを計画の中で定めている。
- 事務局：BPに関して、既存のハード的な部分で足りていない部分は、道路を広げたり歩道をつけるという安全対策を講じ、生活道路に車が流入していかないように人的配置による警備等の対応を考えている。
- ◆C委員：犯罪のない安全で安心なまちづくり推進事業について、犯罪の種類はどんなものがあるのか。
- 事務局：8割が窃盗で粗暴犯が1割となっている。窃盗の内容としては、万引きや、自転車やタイヤの窃盗、車上荒らし等である。  
また、特殊詐欺については、H29年度はオレオレ詐欺で約250万円被害にあった方がいた。
- 事務局：特殊詐欺の相談で言えば、4ページに消費生活センターへの相談件数の指標が記載されているが、傾向としては、相談件数は増えている。最近インターネットを介した詐欺の相談が増えており、高齢者からの相談が多い。市庁舎が移転した関係で、市役所4階に消費生活センターができたことで窓口に行きやすく、相談しやすい体制ができている。
- ◆D委員：市街地活性化事業の中で、北広島団地活性化計画とあるが、課題等についてどのように把握をしているのか。
- ◆委員長：高齢化が進んでいる中で、日常生活において買い物に不便を感じている方が増えている。今後、団地の状況に合わせた施策ができるかというのが大きな課題である。買い物不便者対策として、コープさっぽろと連携し、北広島団地地区をモデルとして3月から移動販売車を運行する予定である。
- D委員：北広島団地地区は戸建てが多く、以前、用途地域の変更を行っていたと思うが今後そういった予定はあるか。
- 事務局：今年度、建ぺい率と容積率の緩和についてのアンケートを実施した。ある程度の年代より上の方は今のままでよい、若い方は土地は色々活用できた方がよいという2

## 第31回北広島市総合計画推進委員会 会議録

---

つの意見に分かれた。北広島団地地区は、道営団地やUR住宅の今後の在り方など、戸建てに限らず集合住宅の考え方も変わっている中で、BPも要因として、若い方が少しずつ北広島団地に住宅を購入し移住してきている。今後の方向性や対策について検討していかなければならないと考えている。

◆D委員：駅前にUR団地があるが、再開発するという話はあるのか。

●事務局：URについては用途転換を行う予定である。立地適正化計画の中で、駅西口はどういったまちづくりを考えていけばいいかを検討をしている。北広公園横に駐車場として使っている市有地や、福祉センターの空いた土地や西口市営駐車場等の土地やURも含めて、今後どう活用していくかというのは次年度から動いていく予定である。

◆A委員：生ごみ処理事業の指標で、H29年度から生ごみの収集率が上がった原因は何か。

●事務局：事業系のごみ収集の手数料を改定した関係で、生ごみ以外の手数料を上げて、生ごみだけ据え置きにしたことで、生ごみの収集量が増えた。事業者側が普通のごみと生ごみを分別するように政策的に誘導した結果である。

◆委員長：最後に、北広島団地地区の土地の使い方について、BPが来ることによってここに住みたいと思っている方とマッチするような土地の使い方になっているかどうかを一度検証する必要があるかと思う。政策的な観点から、団地に人を呼び込むにはどうしたらいいか、他市町村と比較しながらやっていると一気に人が入ってくることもあり得る地域だと考えている。

#### 4. その他（次回開催日程についてなど）

<事務局より説明>

#### 5. 閉会

会議録署名委員

---